

週間漁海況情報 2024年第6号

令和6年2月6日発行

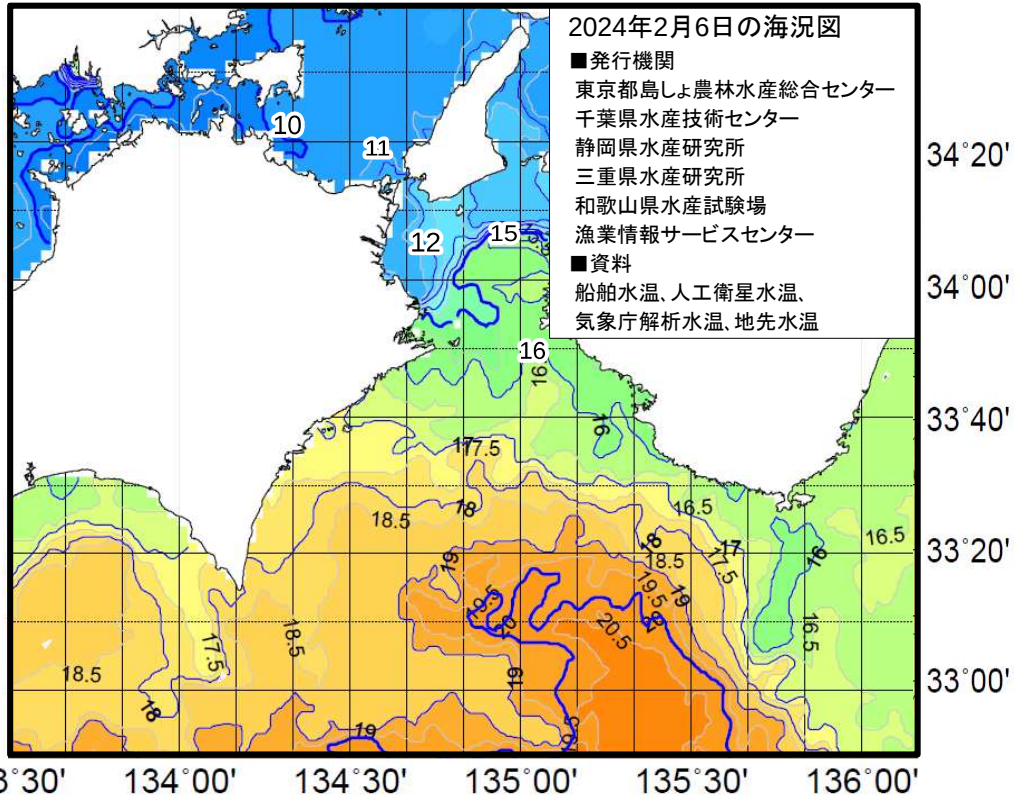
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖43マイル付近、潮岬沖80マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」、潮岬で「離岸」している。黒潮からの暖水波及は、これまでの室戸から潮岬方向へと変化している。これに伴い、紀伊水道の冷たい内海水は、海部沿岸沿いに南下を始めた模様。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は10～11℃、紀伊水道は11～15℃、海部沿岸は15～17℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖	接岸: ~25NM	やや離岸: 25~45NM	離岸: 45~65NM	著しく離岸: 65NM~
潮岬沖	接岸: ~26NM	やや離岸: 26~56NM	離岸: 56~86NM	著しく離岸: 86NM~

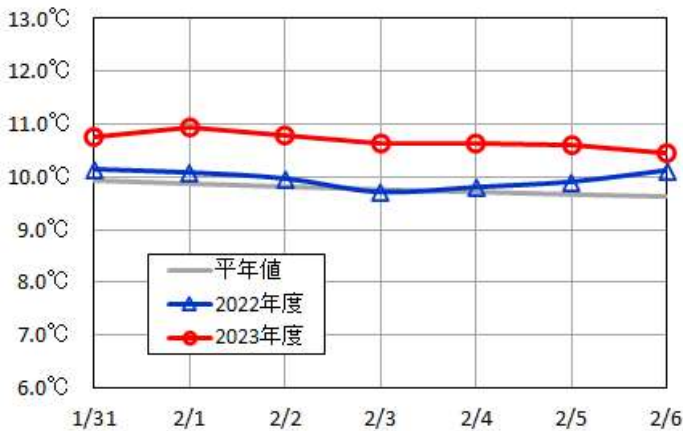
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

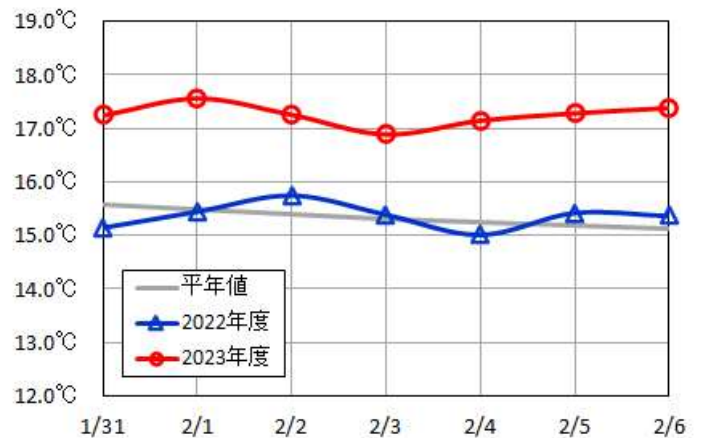
2. 地先水温(1月31日~2月6日)

鳴門地区の水温は、10.4~10.9℃で「やや高め」、浅川地区は、16.8~17.5℃で「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は6.2~6.9℃で、先週と比べて広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(2月7日~2月13日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「高め」で推移する見込み。

漁況 (1月29日～2月4日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

延縄では、シマフグが大きく増えて0.3ト、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、メジナが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って豆あじ主体に1.1ト、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.5ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが増えて大主体に3ト、えそ類が0.6ト、ヒラメが増えて0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、タチウオが大きく増えて1.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マルアジが0.7ト、マアジが大きく増えて小アジ主体に0.4ト、メアジが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が 0.25トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比 [※]
紀伊水道	延縄	18	シマフグ	336	19		↗↗
		13	ブリ	294	23	めじろ級主体	↗↗
	建網	31	メジナ	279	9		↗↗
	小型定置網	15	マアジ	1,119	75	豆あじ主体	↘
		11	ブリ	497	45	めじろ級主体	↗↗
	底びき網	28	コウイカ	2,990	107	大主体	↗
		28	えそ類	608	22		→
27		ヒラメ	435	16		↗	
海部沿岸	釣り	13	タチウオ	1,309	101		↗↗
	大型定置網	2	マルアジ	695	347		→
		2	マアジ	373	186	小アジ主体	↗↗
		2	メアジ	272	136		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘